

“HOLISTIC EDUCATION ON OUR PLANET EARTH”

わたしたちの惑星地球でのホリスティック・エデュケーション

高校生を対象としたラダックにおける
6日間のワークショップの現地レポート紹介（抜粋）

SEBoL (Socially Engaged Buddhist Of Ladakh)

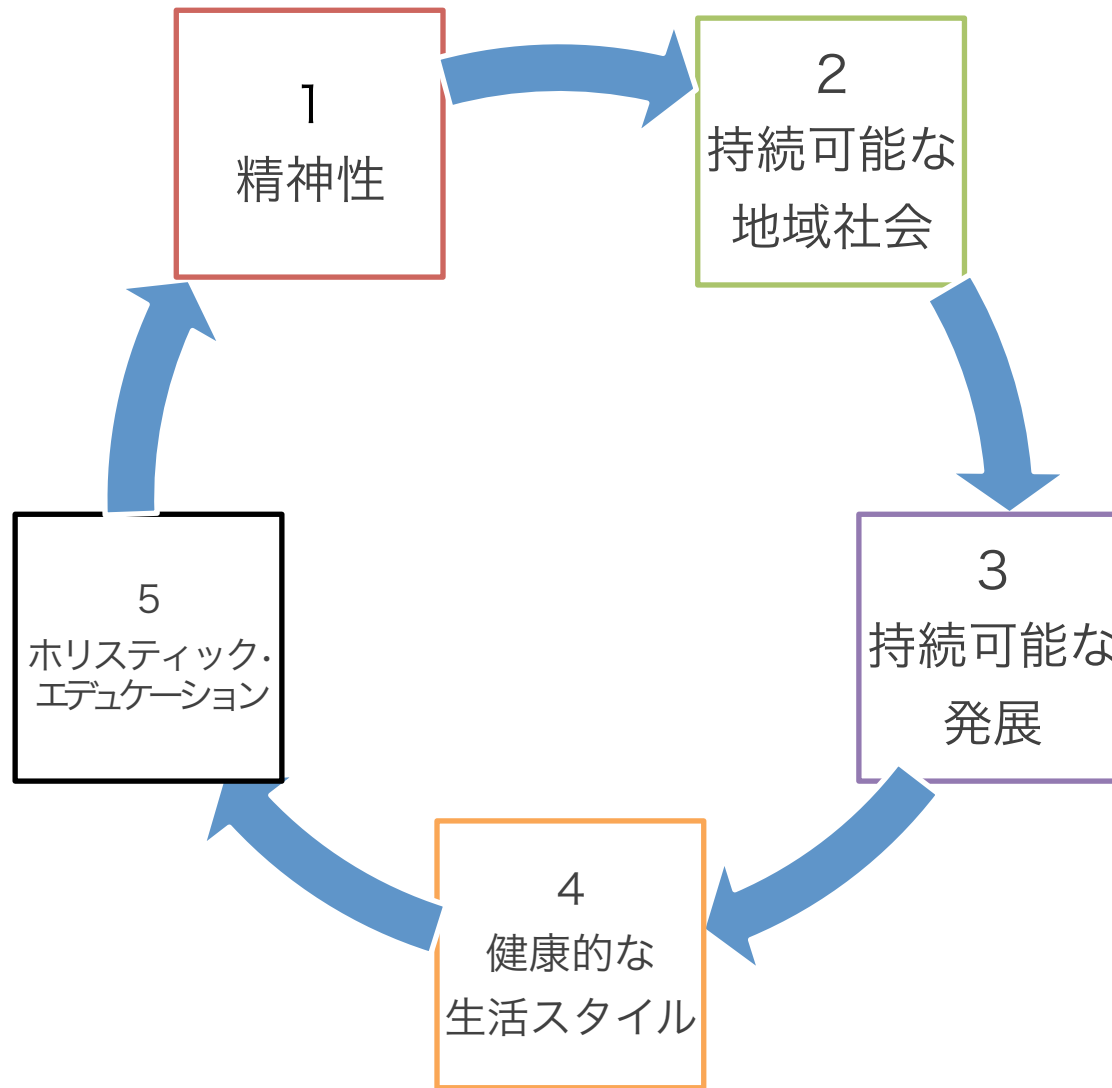
協力：FSUC UNIVER-CITY LADAKH 000

『目的』

宗教・カースト・信条・肌の色・人種・性別の違いに関わらず、
地球上の全人類と自然の営みが、幸福で平和なものになるよう、
「シンプルであること」と「足るを知ること」に基づいた
古来の叡智が涵養され、より豊かに育まれること。

冒頭、伊豆大島の被災からの復興を参加者一同で祈った。

北インドのラダック、レーで2013.11.1 - 6に22名の高校生が参加した宿泊型ワークショップが開催され、日常生活で個人や地球に影響を与えている肝要で、生命の存続に関わる主な問題について研修が行われた。2013年5月に開催された第1回「ラダック叡智のフォーラム」を機に世界に向けて呼びかけが始まったアピール・ポイントに基づき、ワークショップでは、下記の5つのテーマが掘り下げられ、1 - 4については各分野の有識者が招かれ講義が設けられた。ワークショップ後には、2014年5月25日に開催される第2回「ラダック叡智のフォーラム」に向け、人類的課題解決への行動実践への準備に入った。



1. 精神性

- ・ ラダックの伝統的な叡智である仏教が失われつつある。
- ・ 仏教は愛、慈悲、非暴力、平和、地球上全ての存在との協調などの精神性に基づいた古代からの叡智である。
- ・ 貪欲、憎悪、無知(貪・瞋・痴)は今日の状況の主な原因である。
- ・ 今日の市場経済、消費主義や物質的生活習慣は、あくなき貪欲がもたらすものである。
- ・ 持続可能な経済について、ソーシャルワーカー、活動家、教育者などの専門家が語る時、問題の根を無視しがちになる。それは私たちの惑星の持続的ではない経済、生態系、環境や豊富な資源の破壊や枯渇の原因は人間の欲だということ。
- ・ ラダックの人々がその貴重な精神性を失ったとき、嫉妬、欲求、不満、競争心、怒り、憎しみなどの否定的な感情が個人やコミュニティの中に必然的に起きてくる。

2. 持続可能な地域社会

- ・ 私たちの惑星は、資源が限られており、慎重かつ適切に資源を使用する必要がある。
- ・ ラダックは、1970年代に外国人観光客に開放されたのをきっかけに自立的な持続可能な地域社会から消費主義やグローバル化に基づく市場経済への変化を目のあたりにする。

- ・ 貧富の大きな格差、競争、地域内や隣人同士の協調の欠如などがみられる今日のラダックの原因は、市場経済である。
- ・ 古来ラダックは、浪費や廃棄物の一切ない社会だった。
- ・ ラダックの人たちは全てのものをリサイクルやリユースする、真のエコノミスト、生来の廃棄物管理事業者だった。
- ・ 地球温暖化の影響はラダックにもおよんだ。2010年の豪雨は地球温暖化の影響の一つである。豪雨は、農地に大きな影響を与え、農業をあきらめ、新たな職を探す人もいた。

3. 持続可能な発展

- ・ ラダックは、その標高の高い地形から農業に動物の排出物などの地元の有機肥料を使用していた。それはつまりオーガニックで健康に副作用のない環境にやさしいものだった。
- ・ 農業の観点から見るとラダックは、インドの他の地域に比べてユニーク。その理由は、インドのほとんどの地域では計り知れないほどの化学肥料や農薬を使っているため。それは、健康、環境、土壌汚染にはっきりと影響があり、またその利用の増加は、土壌中の微生物の存在を殺すことによって、土壌の質や農産物の生産性や味を低下させる。
- ・ ラダックは自立的に持続可能な経済と環境汚染の少ない農業の生きた見本である。

- ・ インド政府による配給型の店の導入は、自分たちで農業をすることを怠惰にさせ、政府の配給に頼ってしまうことにより、自立的なラダックの経済が失われる結果となった。
- ・ 今日のラダック社会への深刻な影響の一つは、農村社会から都市化への移行。農業を離れることにより、かつてのラダックには存在しなかった貧富の差が生じている。

4. 健康的な生活スタイル

- ・ ジャンクフードが肥満や高血圧の原因となり、ラダックの人も心臓発作や脳卒中などを起こしている。
- ・ 若者の適切な食事離れ、運動量の減少、地元の食材への無関心が問題になっている。
- ・ ラダックはグローバル化した世界との接触のために新たな疫学的な問題を目のあたりにしている。不健康な現代の生活スタイルや食習慣は都市人口に心臓病を増加させている。
- ・ 整理されず急成長している小規模自動車工場や車両からの汚染は、ほこりや家庭燃料からでる汚染に拍車をかけている。
- ・ これまでずっと、きれいで澄んだ空気や水、穏やかな雰囲気だったこの標高の高い地域が、汚染された水と未だかつてない騒音公害に置き換えられている。
- ・ 経済的地位の向上によりラダックの若者は増えた収入で、アルコール、タバコ、油の多い食べ物など、健康に悪影響のあるものを買う傾向がある。

5. ホリスティック・エデュケーション

・ホリスティック・エデュケーションは真実、誠実さと正直さを伴った意味のある生活につながり、さらに、カースト、信条、性別に関係なく、この地球上のすべてのための平和、非暴力と幸福に基づいたアクションを育成し、環境と地球上に住むすべての存在への愛とケアを含む。

講義の他に、仏教寺院への訪問、映画「幸せの経済学」などの鑑賞、グループ活動などを行い、ワークショップでの学習内容を踏まえ、実際に持続可能な地域社会を自分たちで築いて行くための機会が設けられた。参加者全員から肯定的な感想がある、非常に有意義なワークショップとなった。参加した若者たちにとって、このワークショップが、2014年5月25日に開催予定の第2回 LADAKH WISDOM FORUM への準備となったと同時に、人類と私たちの地球が直面するさまざまな問題に対してのアクションをとる準備となった。これは宇宙とアライメントし、中道とホリスティック・エデュケーションを実践する次世代のラダックの始まりともなった。